

## 第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画

### 「食育の推進」の進捗状況について

「食育の推進」については、第3次推進計画に掲げている以下①～④の4つの視点

- ① 全ての市民の食育への理解の増進
- ② 健全な食生活が実践できる環境整備
- ③ 市民運動としての食育の推進
- ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進 に基づいてさまざまな事業を展開した。

#### 令和2年度（2020年度）の取り組み

##### ① 全ての市民の食育への理解の増進（P2～6）

コロナ禍においても家庭での食育を推進するため、感染防止対策を講じたうえで、乳幼児健診等の場で、保護者の相談に応じるなど、不安の解消に取り組んだ。また、乳幼児期を対象とした育児相談や集団での講座は中止となったため、電話等での個別対応を行った。しかし、保育園等での体験型食育活動は、園内における栽培・収穫体験や給食を通じた食育推進が確実に実施された。

食の乱れが著しい若い世代に対する、大学と連携した食育実践講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催回数が減少した。

##### ② 健全な食生活が実践できる環境整備（P7～11）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、対面での相談や教室等が中止になるなか、市民に食についての正確な情報発信を行うため、離乳食の作り方、料理の基礎知識、生活習慣病予防のための簡単レシピの作り方について動画を作成し、市公式 YouTube に配信し啓発を行った。

地域の食のボランティアである食生活改善推進員の養成講座については、従来の対面講義形式から、資料を送付し受講生からレポートを提出してもらうとともに、調理実習についても自宅学習やデモンストレーション等に変更するなど、工夫しながら人材の育成に取り組んだ。

また、市民の野菜摂取拡大に向け、食品関連事業者への啓発ポスターの提供や野菜レシピの店内設置と配付、更には副菜レシピを定期的に市 LINE で配信したほか、食のホームページへも掲載するなど、食環境づくりのための情報発信に努めた。

##### ③ 市民運動としての食育の推進（P12～16）

食育の機運を醸成するため、関係機関や団体と協働で開催していた市民健康フェスティバル等のイベントについては感染拡大を防止するため、中止となった。そのため、食育月間や食育の日のホームページでの啓発や、ラジオや SNS を通じた全市的な食育の広報に、積極的に取り組んだ。

また、子どもの食育推進ネットワークの活動として、保育園等の施設と協働で、家庭での朝食習慣と生活リズムの確立を目指した「はやね・はやおき・あさごはんカード」の取組を行い、コロナ禍における家庭での食育支援を保育園等と連携し実施した。

##### ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進（P17～20）

生産者との交流等については感染拡大を防止するため、ほとんどが中止となった。またコロナ禍での、外食需要の低迷による地元農畜水産物の消費低下を防ぐため、県産品の消費喚起のための広報、学校給食への積極的導入やレシピコンテスト等を新たに行い、地産地消の推進に努めた。

#### 令和3年度（2021年度）の重点的に行う取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、調理実習や試食を伴う食育の推進は、制約を受けている。そのため「新たな日常」に対応した食育の推進が重要となり、熊本市食のホームページや、熊本健康アプリ、YouTube 等の SNS を活用し市民への情報提供に注力する。また、コロナ禍における家庭での食育を重点的に推進するため、食品関連事業者との協働で、減塩や野菜摂取量の増量に向けての情報発信の強化を図る。

国の第4次食育基本計画（R3～R7）に示されている、食の循環や環境を意識した、持続可能な食を支える食育の推進、デジタル化に対応した非接触型の食育の展開については、本市の食育の推進においても、考慮すべき課題として位置づけ今後の食育の推進に取り組む。

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

施策の方向性		(1)家庭における食育の推進	H30	R1	R2	R5
			基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合	77.1%	-	-	90%
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	-	-	現状維持
取り組むべき施策		1) 「食卓」の重要性についての啓発				
		2) 食を楽しむことについての啓発				
		3) 男女共同参画による食育の推進				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	アクセス数 3,349,213件	アクセス数 10,625,221件	・サイト内で、食事に関するQ&Aを14項目掲載	継続実施	子ども政策課
2	乳幼児パパママ教室	保育所、幼稚園、子育てグループ等へ講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	実施	派遣回数 3回	実施なし	・令和2年度は講師派遣なし	継続実施	子ども支援課
3	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	実施	79回 624人	20回 92人	・地域の子育て支援センター等で、離乳食の進め方について講話を実施 ・各区で予定していた「離乳食教室」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	継続実施	各区保健子ども課
4	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	実施	19回 179人	6回 23人	・計画はあったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施となった事業もあり	継続実施	各区保健子ども課
5	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	参加者数 3,161人	参加者数 4,138人	参加人数 580人	・毎週定例の育児相談日については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。電話相談や訪問、個別来所による相談を実施	継続実施	各区保健子ども課
6	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加者数 3,293人	参加者数 3,055人	参加人数 2,566人	・親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	継続実施	各区保健子ども課
7	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.6%	受診率 98.68%	受診率 99.0%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課
8	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 100%	該当者なし	・2年度は、栄養指導フォローの該当者なし	100%	子ども政策課 各区保健子ども課
9	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	受診率 99.15%	受診率 98.9%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課
10	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 96.0%	受診率 96.74%	受診率 97.7%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
11	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 95.38%	フォロー率 81.3%	・健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施 ・3か月健診事後指導は未実施の事例あり	100%	各区保健子ども課
12	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.0%	受診率 97.74%	受診率 96.1%	・各区では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染対策を講じ、保護者が安心して相談できる環境を整えた	100%	子ども政策課
13	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.1%	受診率 96.87%	受診率 96.8%	・各区では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染対策を講じ、保護者が安心して相談できる環境を整えた	100%	子ども政策課
14	乳幼児経過観察健診	子どもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 72.2%	受診率 75.3%	受診率 85.7%	・各区では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染対策を講じ、保護者が安心して相談できる環境を整えた	100%	子ども政策課
15	保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ	実施	年間5回程度	実施なし	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし	継続実施	子ども支援課 子育て支援センター
16	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施 (評価指数:肥満度20%以上の児童の割合)	小学生 7.7% 中学生 8.0%	小学生 8.2% 中学生 8.6%	小学生 10.4% 中学生 10.9%	・肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施	減少	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<p>●特定保健指導における「食育の推進」</p> <p>・健診の結果、メタボリックシンドロームのリスク保有者に対して、生活習慣の改善を目的とした特定保健指導の一つとして「食育の推進」を実施。</p> <p>・特定保健指導実施件数(実施率):・被保険者11,267人(32.4%)・被扶養者137人(10.7%)・合計11,404人(31.7%)※対象者は、熊本市を含む県内の適用事業所全て。</p>	全国健康保険協会熊本支部
2	<p>●特定保健指導:積極的支援及び動機づけ支援の実施</p> <p>・特定健診実施後の特定保健指導において、食の安全安心や食事リズムを意識した支援を実施。</p> <p>・特定保健指導件数:725件 ・健診受診後の事後指導:178件</p>	(公財)熊本県総合保健センター

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

\*H29年実績値

施策の方向性	(2)生涯にわたる食育の推進	*H29年実績値				
		H30 基準値	R1 実績値	R2 実績値	R5 目標値	
検証指標 項目	③ 1週間あたりの朝食について ※幼児は「毎日食べる割合」、 他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	97.3%	-	-	100%
		小学5年生	1.7%	-	-	0%
		中学2年生	4.2%	-	-	0%
		若い世代【20,30歳代】	18.5%	-	-	10%以下
		65歳以上	3.4%	-	-	0%
	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	*100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	*100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	
	⑥ 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		*94.0%	97.0%	調査実施なし	100%
⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)		*20件	47件	4件	30件	
取り組むべき 施策	4) 子どもの頃からの体験を通じた食育					
	5) 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進					
	6) 若い世代や働きざかりに対する食育の推進					
	7) 高齢者に対する食育の推進					
	8) 給食を活用した食育の推進					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 93.0%	実施率 公立100% 私立90.2%	実施率 公立100% 私立88.6%	・園での栽培・収穫体験や収穫物によるクッキング等の実施 ・11月24日(和食の日)に合わせて「だしで味わう和食の日」の取組を実施。だしの飲み比べや鰹節削り体験等を行った	100%	保育幼稚園課
2	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心を高め、食について親子での会話を促す	実施率 76.5%	実施率 公立100% 私立75.6%	実施率 公立100% 私立76.1%	・実物の展示食を用いて、必要量や形態等を啓発 ・おやつについても展示を行い、内容や捕食量を提示	85%	保育幼稚園課
3	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 93.4%	実施率 公立100% 私立92.7%	実施率 公立100% 私立93.9%	・熊本市保育所食育推進年間計画に基づき、月ごとのテーマ及び食育目標に沿った内容で情報を発信	100%	保育幼稚園課
4	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 79.3%	実施率 公立100% 私立74.8%	実施率 公立中止 私立32.0%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	85%	保育幼稚園課
5	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、多くの大学で実施を中止	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
6	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、外部職域と連携した開催はできなかった。区役所職員等を対象にした講座を開催	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
7	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	実施	32回 586人	4回 68人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施数が減少。地域の高齢者サロン等で講話を実施	継続実施	各区保健子ども課

8	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 (※R2からは、「啓発パンフレットの作成と配付」を除く)	実施回数 1,249回	実施回数 1,662回	実施回数 356回	・高齢者サロンやくまもと元気づらぶを対象にフレイル予防のための健康教育等を実施	継続実施	高齢福祉課
	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
9	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	実施	実施	・市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	継続実施	健康教育課
10	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	・たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	継続実施	健康教育課
11	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	実施	配布数 7,144枚	配布数 7,119枚	・パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	継続実施	健康教育課
12	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	実施	健康手帳 使用者数 2,056人	健康手帳 使用者数 2,081人	・肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	継続実施	健康教育課
13	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	実施	応募数 1,237点	実施なし	・新型コロナウイルス感染症の影響により学校再開が6月だったため作品募集を中止	継続実施	健康教育課
	●検証指標	【公立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (19/19)	100% (19/19)	・園での栽培・収穫体験や収穫物によるクッキング等の実施 ・11月24日(和食の日)に合わせて「だしで味わう和食の日」の取組を実施。だしの飲み比べや鰹節削り体験等を行った	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【私立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	87.20%	90.2% (222/246)	88.6% (218/246)	・園での栽培・収穫体験や収穫物によるクッキング等の実施	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【公立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (6/6)	100% (6/6)	・野菜・果物の栽培や収穫を行った。また、昼食中の指導を通して食べ物の大切さ、作っている方への感謝の気持ちなどを学んだ	100%	教育政策課
	●検証指標	【私立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (22/22)	100% (22/22)	・園での栽培・収穫体験や収穫物によるクッキング、あさごはんカードの取組を実施	100%	健康づくり推進課
	●検証指標	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	94.0%	97.0%	調査実施なし	・新型コロナウイルス感染症の影響で例年実施する「食育推進調査」を実施しなかったため検証できなかった	100%	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●電話による栄養・食生活相談の実施。食事のとり方等について相談を行った。相談件数5件。	熊本県栄養士会
2	●訪問栄養指導の実施。訪問件数6件。(短期集中サービス事業)	熊本県栄養士会
3	●自立支援型ケア会議への参加。86件。	熊本県栄養士会
4	●電話による健康相談、栄養指導の実施。約5件(電話)。	(公財)熊本県総合保健センター

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●セミナーの開催:5事業所</li> <li>●事業所を対象に、体調改善、健康維持を目指し、食事のリズムや食事内容についてのセミナーを実施。</li> </ul>	(公財)熊本県総合保健センター
	取組状況	関係機関・団体名
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係機関等からの食育に関する情報や研修会案内の配布及び各研修会への加盟園の参加を促した。</li> </ul>	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者世代対象の生活習慣病予防のためのスキルアップ事業:中央高校生20人参加</li> <li>●高校生を対象に、食事バランスプレートを使用し、バランスのとれた食事の習慣化や、汁物の食塩濃度の測定方法等を伝え、減塩の必要性の啓発を行った。</li> </ul>	熊本市食生活改善推進員協議会
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢世代対象の生活習慣病予防のためのスキルアップ事業:個別訪問33人</li> <li>●自宅に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対して、個別訪問を行い低栄養やフレイル予防について資料を配付し説明を行った。</li> </ul>	熊本市食生活改善推進員協議会
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●100円朝食:朝食利用件数2,036件</li> <li>●朝食の大切さを知ってもらうために実施。学生に負担がかからないよう、大学が150円を補助し、学生は100円で朝食が摂れる取組を実施した。</li> </ul>	崇城大学

II 健全な食生活を実践するための環境整備

\*H29実績値

施策の方向性	(1)健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)【再掲】	*20件	47件	4件	30件
	⑧ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合	76.1%	-	-	85%
	若い世代【20,30歳代】	64.0%	-	-	75%
	⑨ 栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	63.4%	-	-	80%
	⑩ 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に 気をつけた食生活を実践している市民の割合	34.3%	-	-	50%
若い世代【20,30歳代】	22.5%	-	-	25%	
取り組むべき施策	9) 「食事バランスガイド」「食育ガイド」等を活用した食生活の実践への支援				
	10) 生活習慣病予防等についての啓発				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き講話や実習等を行う	15回	37回	20回	・市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等の要請に応じて現地へ出向いて講話や実習等を行った	継続実施	生涯学習課
2	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 51,359人	累計 53,097人	累計 53,303人	・例年92校区全てで開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、校区を23校区、参加人数を10人に縮小して実施	60,559人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	実施	啓発数 1,559人	啓発数 1,844人	・講座等において、食事バランスガイドの啓発を行い、食事の組み合わせと日本型食生活の定着を図った	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176	・幼児健診や講座等において、市統一の栄養成分表示チラシを使い、栄養成分表示の活用について啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	健康教育(40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加者数 7,520人	参加者数 9,253人	参加者数 2,494人	・糖尿病予防教室やロコモ予防教室、食生活改善推進員と協働による生活習慣病予防教室等を開催 ・教室の開催が新型コロナウイルス感染症の影響で難しい場合は、区のHPで啓発を行った	継続実施	各区保健子ども課
6	健康相談(40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加者数 4,037人	参加者数 2,962人	参加者 3,401人	・来所による健康相談のほか、電話や健康教育等で個別相談を実施	継続実施	各区保健子ども課
7	●検証指標【再掲I-(2)】大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、多くの大学で実施を中止	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
8	●検証指標【再掲I-(2)】働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、外部職域と連携した開催はできなかった。区役所職員等を対象にした講座を開催	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チラシによる情報提供</li> <li>・健診結果同封のチラシに、食事リズム、朝食の重要性などについて情報を掲載し啓発を行った。</li> </ul>	(公財)熊本県総合保健センター
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●すこやか食生活改善講習会:23校区で実施、23回206人参加</li> <li>・地域住民を集めて。骨粗しょう症予防をテーマに、健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催。</li> <li>・少人数で感染防止対策を講じて開催した。</li> </ul>	熊本市食生活改善推進員協議会
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●熊日スパイスでの啓発:2回掲載</li> <li>・「夏野菜を使って親子クッキング」での簡単夏野菜レシピの紹介、「昔懐かしい簡単おやつ」で郷土のおやつ「豆だご」等の作り方を紹介し、市民へ啓発した。</li> </ul>	熊本市食生活改善推進員協議会

II 健全な食生活を実践するための環境整備

\*H29実績値

施策の方向性	(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	① 食育の推進に関するボランティア数	*1,536人	1,685人	1,757人	1,850人
取り組むべき施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と活用の促進				
	12) 食生活改善推進員等、地域支援者の育成				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 40人	受入数 39人	受入数 0人	・新型コロナウイルス感染症感染防止のため、実習生の受け入れなし。区毎の集中講義等に対応した	継続実施	各区保健子ども課
2		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 43人	受入数 41人	受入数 46人	・実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援した	継続実施	健康教育課
3	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 7人	受入数 1人	受入数 7人	・主に、小学校において県外大学から4人、県内大学から3人を受け入れた	継続実施	指導課 健康教育課
4	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	開催数 2回	開催数 0回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため未実施	2回	食品保健課
5	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者数 202人	参加者数 198人	中止	・新型コロナウイルス感染症の影響で集合研修ができず開催中止とした。(延期開催も難しく、またオンライン開催も整備不足であったため)	継続実施	健康教育課
6	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者数 67人	参加者数 66人	参加者数 67人	・授業力向上等の研修会を実施	継続実施	健康教育課
7	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る	1回 81人	1回 63人	動画視聴数 274回	・「感染症と口腔ケアの深い関係」をテーマとして多職種を対象とした研修会をCKDコメディカル研修とタイアップし、YouTubeで実施	継続実施	健康づくり推進課
8	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 72人	養成数 49人	養成数 34人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面研修及び開催時間の短縮、調理実習についてはデモや在宅学習等で実施	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	53回 2,001人	55回 2,110人	33回 3,771人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、資料送付及びレポート提出の書面による研修を中心に実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	・役員会、電話や来所による相談により助言等を行い、活動を支援	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
11	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 79人	養成数 74人	養成数 100人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催時期の短縮及び一部書面での研修を併用して実施	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	食育の推進に関するボランティア数	1,536人	1,685人	1,757人	・令和2年度食生活改善推進員会員数592人 ・8020推進員育成数(累計)1,165人	1,850人	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食生活改善推進員養成講座への支援</li> <li>・食生活改善推進員の養成講座の中で、受講生との交流会に参加し食生活改善推進員の活動内容等について話し、食生活改善推進員の役目を理解していただくことで、食のボランティア養成に協力した。</li> </ul>	熊本市食生活改善推進員協議会
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食生活改善推進員としての自己学習</li> <li>・食に関するボランティアとして身に付けることが必要な各種知識について、各自が研修会(書面開催を含む)に参加する等して自己研鑽を行った。</li> </ul>	熊本市食生活改善推進員協議会
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食育の取組について、栄養改善学会で発表を行った。</li> </ul>	熊本県立大学
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●たべラボランチミーティング:年14回実施</li> <li>・食育を主体的に実施する学部横断的グループ「たべラボ」メンバーを対象に、食生活改善チャレンジや熊本の食の魅力探しワークショップ、10分間料理教室、食育の日メニュー検討などを行った。</li> </ul>	熊本県立大学
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食育に関する図書館展示:年4回実施</li> <li>・季節毎にテーマを決め、図書館に食育コーナーを設置した。</li> </ul>	熊本県立大学
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●くまもと食育ガイドブックを使用した講義の実施。(10～1月、約100人。)</li> </ul>	熊本県立大学
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●尚絅学食レシピコンテスト</li> <li>・魚を使ったオリジナル料理+1品、材料費1人250円以内、調理時間60分以内で審査を行った。募集期間8～10月上旬。1次、2次審査を経て、最終審査を10月に実施。</li> <li>・応募総数236点、優秀作品5品を学食で提供した。</li> </ul>	尚絅大学・尚絅短期大学短期大学部

II 健全な食生活を実践するための環境整備

施策の方向性		(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進	H30	R1	R2	R5
			基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑫	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	219店舗	250店舗
取り組むべき施策	13) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進					
	14) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進					
	15) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進					
	16) 事業者から発信する食育					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	実施	支援業者数 10件	支援業者数 6件	・食品関連事業者に野菜摂取啓発ポスターや野菜レシピの配付、栄養表示の支援を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	食品関連事業者向け研修会の開催	食品関連事業者が、食育を推進するための情報や知識を得るための研修会の開催	実施なし	1回 103人	実施なし	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし	実施	健康づくり推進課
3	【再掲Ⅱ-(1)】栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176	・幼児健診や講座等において、チラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図った	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	実施	実施	実施	・事業者からの問い合わせに対して随時技術的支援を実施	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	219店舗	・健康サポートメニューの提供店として1店舗登録	250店舗	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●牛乳飲用消費拡大事業:オリジナルレシピ8メニューの検討、試作 ・牛乳を使った料理の普及のため、牛乳・乳製品を使ったオリジナルレシピの開発を行った。	熊本市食生活改善推進員協議会
2	●小麦粉を中心とした調理講習会 ・全粒粉、小麦粉製品等の有効な活用法を図るため、小麦粉の種類、栄養価等についての講話と調理実習を行った。	熊本市食生活改善推進員協議会

### Ⅲ 市民運動としての食育の展開

施策の方向性	(1) 市民協働による食育運動の展開	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	① 食育に関心がある市民の割合【再掲】	77.1%	-	-	90%
取り組むべき施策	17) 食育に関する機運の醸成				
	18) 関係団体と連携した食育運動の展開				

#### 《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	実施	実施	・市役所1階ロビーや区役所において食育月間のパネル展示や資料及び食育月間啓発チラシ等の配布での啓発	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者数 9,359人	ブース 来場者数 834人	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	継続実施	健康づくり推進課
3	農産物フェア	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出	実施	実施	実施	・コロナ禍において消費者に熊本の本産物の魅力に触れていただくため、期間限定の通販サイト「くまもと収穫祭」を開設。熊本県内への送料は無料とし、非対面式の農産物フェアを開催した。開催期間はR2.12.1～R3.3.21	継続実施	農水ブランド戦略室 各農業進振興課
4	ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 97,299人	HPアクセス数 93,859人	HPアクセス数 108,619人	・食の安全安心と食育についての情報提供を実施	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	7回	34回	140回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面での食育の実施が制約を受けたため、市政だよりや、ホームページ、テレビ、ラジオ、YouTubeやLINE等を使った啓発に注力した	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診、性感染症等について啓発	実施	啓発数 458人	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、食育や歯科、がん及び性感染症の啓発のためのイベントは中止	継続実施	健康づくり推進課 感染症対策課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民を対象にした食育に関する啓発	実施	参加者数 113人	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲Ⅱ-(2)】食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	・役員会、電話や来所による相談により助言等を行い、活動を支援	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 45,049件	活動件数 42,838件	活動件数 7,547件	・人を集めての活動が難しい状況であったため、レシピ配布や個別訪問等を中心とした活動を実施	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 969件	支援件数 892件	支援件数 260件	・8020推進員に口腔の健康や機能向上についての資料提供及びアドバイスを行い、地域でのボランティア活動の実施	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民公開講座の開催:会場32人、Web93人参加</li> <li>・演題「宇宙栄養学～星から眺めたフレイルティ～高齢社会を宇宙栄養学で解決」</li> </ul>	熊本県栄養士会
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食育の取組の周知</li> <li>・日本PTA全国協議会や諸団体から配布されている食育に関する冊子等を理事会で紹介し、全国のPTAや教育委員会等の取組を周知した。</li> </ul>	熊本市PTA協議会
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若い世代を対象とした食生活改善啓発活動</li> <li>・九州農政局と連携し、食育の一環として若い世代である大学生を対象に、食生活改善のためのパネル展示、リーフレット配付、シールアンケートの実施。</li> <li>・アンケート100人。週4回以上朝食を食べる85%、家族や仲間と一緒に食事をする85%、主食・主菜・副菜を意識43%、出身県の郷土料理を知っている97%という結果であった。</li> </ul>	尚綱大学・尚綱短期大学 短期大学部

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

\*H29年実績値

施策の方向性	(2) 食育支援団体のネットワークの整備	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑬ 「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	*62.6%	保育所等52.4% 支援団体80.0%	23.3%	70%
取り組むべき施策	19) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 4回	開催数 2回	開催数 2回	・食の安全安心・食育部会及び健康くまもと21推進会議を书面開催	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
2	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開	加入団体数 394団体	加入団体数 400団体	加入団体数 393団体	・子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	参加者数 181人	コロナのため 中止	動画視聴数 645回	・「コロナ禍の今、家庭における食育の推進のためにできること」をテーマに3本の研修会動画をYouTubeで配信	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	参加者数 626人	24回 538人	6回 512人	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面で情報提供や、食育活動報告等を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	62.6%	保育所等 52.4% 支援団体 80.0%	23.3%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、施設側と外部との交流の機会が制限され、連携活動した団体の割合は低下した	70%	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●尚綱乳幼児食育研究会 ・乳幼児の食に関する課題や保育現場での食育活動、給食管理の課題を解決していくため、県内の保育所等の関係者が集まって研修を行った。 ・年2回開催。事例発表、レシピ交換、協議などを実施した。	尚綱大学・尚綱短期大学 短期大学部

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

\*H29年実績値

施策の方向性	(3) 地域における食育の展開	*H29年実績値				
		H30 基準値	R1 実績値	R2 実績値	R5 目標値	
検証指標 項目	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	
⑭	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	776箇所	
取り組むべき 施策	20) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	介護予防事業	【短期集中予防サービス】 栄養状態、運動及び口腔機能 低下者を早期に発見し、悪化 防止のための指導を実施	R1.10より 実施予定	実施件数 12回	実施件数 31回	・低栄養や虚弱の恐れがある 高齢者に対し、訪問での栄養 指導を実施	継続実施	高齢福祉課 各区福祉課
2	子ども食堂への支援	子ども食堂の開設及び運営に 対する助成を実施することで、 子どもたちの居場所づくり等を 支援	新規	29か所で実 施 開催数は未 把握	39か所で実 施 開催数は未 把握	・運営や開設に係る費用を助 成した。また、企業や市民から の食材等の寄付やボランティア の繋ぎを行った	継続実施	子ども政策 課
3	保育園児と地域住民 との交流会	団子汁会や芋煮会など郷土食 の継承とともに、食を通じた繋 がりの場を作る	実施	実施	中止	・新型コロナウイルス感染症感 染拡大防止のため開催中止	継続実施	保育幼稚園 課
4	幼児期の共食の重要 性の啓発	1歳6か月児健康診査等におい て、共食についての啓発資料 の配布	R1.10より 実施予定	啓発数 1,660人	啓発数 6,879人	・1歳6か月児健康診査等にお いて、共食についての啓発資 料の配布し、コロナ禍におい ても共食についての重要性につ いて周知	継続実施	健康づくり推 進課 各区保健子 ども課
5	子どもだけで食事す ることが「ほとんどない」 家庭の増加	3歳児健康診査受診前質問票 で、「ほとんどない」との回答者 を増加	85.2%	85.4%	86.4%	・家庭での共食の重要性を周 知し、コロナ禍において家庭 での共食の割合は元年度より増 加	88.0%	健康づくり推 進課 各区保健子 ども課
	●検証指標	住民主体の通いの場(高齢者 健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	・住民主体の通いの場(高齢者 健康サロン等)の数	776箇所	高齢福祉課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●子ども食堂への支援:13回、延べ68団体 ・部員の畑5か所に年間9種類(じゃがいも、大根等)の野菜を栽培し、子ども食堂に支援を行った。	熊本市農業協同組合
2	●おやこの食育教室:親子22組参加 ・託麻南校区の親子を対象に、食育ランチョンマットを使用し主食・主菜・副菜を揃えることの大ささについての講話や食育クイズ を行い、朝食の欠食の予防と共食の大切さを伝えた。	熊本市食生活改善推進員 協議会
3	●生涯骨太クッキング:35人参加 ・いきいきサロン参加者に対して、骨についての講話とカルシウムを上手に摂取する食事の工夫について啓発を行った。	熊本市食生活改善推進員 協議会
4	●子どもの健康食生活の支援活動:691回1,044人 ・子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ(3種)を配付し、作り方や幼児にとってのおやつ目的、おやつ適切な量や 食べ方をお話した。	熊本市食生活改善推進員 協議会
5	●若者・働き世代の健康・食生活活動支援:1,258回1,755人 ・若者や働き世代の方に対して、若い頃からの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施した。	熊本市食生活改善推進員 協議会

	取組状況	関係機関・団体名
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の健康・食生活の支援活動:1,598回3,463人</li> <li>●高齢者のための食生活やフレイル予防のための食生活についてのお話等を行った。</li> </ul>	熊本市食生活改善推進員協議会
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育所給食改善</li> <li>●百貨店の事業所内保育施設における給食改善と食育を実施した。4月から3月の期間で実施。</li> </ul>	熊本県立大学
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園スペシャル給食</li> <li>●熊本県産の食材を主に活用して、ときわ幼稚園の園児にお弁当の提供を行った。給食時には説明を行い、園児との交流を図った。</li> <li>●園児からお礼のメッセージをいただき、調理師を目指す学生にとって良い機会となった。</li> </ul>	学校法人常盤学園シェフパティシエ学院
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園パン作り体験</li> <li>●熊本県産の食材を主に活用して、ときわ幼稚園の年中・年長組の園児に対してパンを提供した。</li> <li>●パティシエを目指す学生にとって良い機会となった。</li> </ul>	学校法人常盤学園シェフパティシエ学院
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てサークルや保育園、小中学校、地域イベント等における歯と口の健康づくり啓発:7回</li> <li>●むし歯や歯周病予防の観点から、規則正しい食生活やよく噛むことの効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図っている。</li> </ul>	熊本市8020健康づくりの会
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者サロンや老人会でのお口の体操:10回</li> <li>●高齢者サロンや老人会等において、おいしく食べるためのお口の体操などの情報提供を実施。</li> </ul>	熊本市8020健康づくりの会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(1)生産者と消費者の交流促進	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑮ 農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	-	-	50%
取り組むべき施策	21) 生産者と消費者の交流会の開催				
	22) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	実施	開催数 9回	中止	・新型コロナウイルス感染症の影響で交流会は中止	継続実施	健康教育課
2	食農体験事業	収穫、調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る	実施	実施	事業終了	・R1年度をもって事業終了	継続実施 ⇒R1で終了	農水ブランド戦略室
3	すこやか交流広場管理運営事業	子ども農園の貸付や植え付け祭、収穫祭等のイベントを開催し、世代間交流を促進	農園利用率 76%	農園利用率 76%	農園利用率 66%	・子どもふれあい農園や多目的広場の貸付及びすこやか交流広場の管理業務	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	・各学校の実態に応じて農業体験や栽培活動、緑化活動等を推進	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	市民と漁業者との交流を通じ、水産業の紹介、漁業体験活動等を推進	参加者数 75人	参加者数 78人	事業終了	・R1年度をもって事業終了	継続実施 ⇒R1で終了	水産振興センター

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●収穫体験:じゃがいも収穫体験60人、ナス収穫体験50人 ・女性部員が栽培しているじゃがいも畑と組合員が所有するナスのハウスにて、熊本学習支援センターの子ども達及び中央高校の学生を対象に収穫体験を行った。	熊本市農業協同組合
2	●小学校3校:①米の播種、田植え②春日ぼうぶらの贈呈、定植指導 中学校1校:①JA管内野菜の紹介 高校1校:①県内野菜の紹介と産地状況説明 ・伝統野菜の継承や主食であるお米の大切さを伝える事を目的に栽培から収穫までを巡回し指導を行った。	熊本市農業協同組合
3	●尚綱食育の日お魚の日:天草地区漁業士会と連携した食育イベントの開催 ・真鯛とアオサを使った天井とアオサ汁の提供と天草の魚や漁業士会の活動をPRするポスター等の掲示。 ・鯛飯、アオサ汁、がね揚げ、あえ物の特別メニューを学食で販売。大変好評だった。	尚綱大学・尚綱短期大学 短期大学部
4	●熊本県産茶の提供・PR活動 ・くまもと茶ブランド確立対策協議会及び熊本県農林水産部と連携し、くまもと県産茶の試飲会を開催した。 ・「熊本にブランド茶があることを知らなかった」「お茶のインストラクターという資格も知らなかった」等の感想が聞かれた。	尚綱大学・尚綱短期大学 短期大学部

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

\*H29年実績値

施策の方向性	(2) 地産地消の促進	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑯ 進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	-	-	80%
	⑰ 市内における農産物直売所の販売額	*2,936百万円	2,962百万円	3,125百万円	3,339百万円
	⑱ 学校給食における地元農産物の使用割合	*38.2%	40.7%	38.5%	43%
取り組むべき施策	23) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進				
	24) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	熊本に因むストーリーが展開できる野菜を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る	啓発活動の実施	実施	実施	・市ホームページにおいて、ひご野菜の紹介や、取材依頼等に対し生産者の紹介などを行った	継続実施	農水ブランド戦略室
2	農産物直売所支援	直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培の取組や合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る	直売所数 17箇所	直売所数 21箇所	直売所数 21箇所	・各種イベント等の情報提供や、市ホームページにおいて直売所の通販サイト等を紹介した	増加	農水ブランド戦略室
3	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	農水局フェイスブックや市ツイッターを活用し、熊本市の農水産物について情報を発信	実施	閲覧数 320,339回	閲覧数 318,451回	・農水局公式Facebookページを継続運用し、令和2年度においては農水産業に関する223件の記事を投稿した	継続実施	農業政策課
4	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	実施	開催数 8回	中止	・新型コロナウイルス感染症の影響で産地視察が中止となった	継続実施	健康教育課
5	●検証指標 給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	実施	・保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用 ・給食物資契約時には、地産地消の観点から選定を行っている	継続実施	保育幼稚園課
6		毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	市産品率 38.2% (H30実績 39.2%)	市産品率 40.7%	市産品率 38.5%	・市産品使用量の多い4,5月の給食が中止だったことの影響が市産品率低下の原因と考えられる	43%	健康教育課
	●検証指標	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万 (H30実績 2,944百万)	2,962百万	3,125百万	・市内の農産物直売所の売上の情報把握に努めた	3,339百万	農水ブランド戦略室

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●小中学校及び福祉施設等へ熊本市産海苔を提供 ・小学校4校に合計3,389枚の焼き海苔を提供した。	熊本市漁業後継者クラブ
2	●県産品を学食メニューで提供:年間1,245食提供 ・7月より毎月1回「食育の日」に、熊本県の食材を使い学生が考えたメニューを学食で提供した。	熊本県立大学
3	●海苔の日に海苔を提供 ・西区の中学校1校、小学校1校、保育園5校、支援施設2校へ沖新漁協で生産されたの海苔約7,600枚を贈呈した。	熊本県漁業協同組合連合会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(3)くまもとの食文化の伝承	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑱ 家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	-	-	80%
取り組むべき施策	25) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の推進				
	26) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の促進				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」に掲載し発信	実施	実施	実施	・10種の郷土料理を食のホームページ「くまもとの食」に掲載	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	実施	実施	・郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	・学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	100%	健康教育課
4		豆だご等の郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	実施	実施	・郷土料理や年中行事について、月ごとに行事食として提供	継続実施	保育幼稚園課
5	【再掲Ⅲ-(3)】保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止	継続実施	保育幼稚園課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●城南小学校郷土料理教室:2クラス46人参加 ・4年生を対象に熊本の郷土料理について講話を行い、食文化の伝承を推進した。	熊本市食生活改善推進員協議会
2	●鯨肉の魅力のPRと鯨と食に関する啓発 ・NPO法人くまもと食農応援団の協力で、捕鯨や鯨の食文化に関するパネル展示や学食で「鯨カツ」「鯨汁」の提供と意識調査を実施。 ・年2回開催。鯨料理は好評であり、鯨を食べることに抵抗のある者は2割弱であった。パネル展示により捕鯨について関心が高まった。	尚綱大学・尚綱短期大学短期大学部
3	●熊本の郷土料理啓発活動 ・熊本に古くから伝わる郷土料理22品について、地区毎に分けてパネルを作成し、その認知度をオンラインアンケートで調査。 ・「知らない郷土料理がたくさんあることがわかった。」「もっと郷土料理について知りたい」などの声が聞かれた。	尚綱大学・尚綱短期大学短期大学部
4	●四條中納言山蔭嫡流九州支部保存会庖丁式の実施 ・5月、10月 世安神社春季、秋季大祭に於いて実施。 ※平安時代から始まると伝えられる日本料理の流派。「庖丁式」とは料理に関する作法・故実や調理法などを最も頻用する調理器具の包丁で象徴した呼び名。庖丁と真魚箸(まなばし)のみを用いて、鯛などの素材に一切手を触れることなくさばっていくもので、各地の神事などで奉納される。	(一社)日本調理士協和庖真会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進	H30	R1	R2	R5
		基準値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑳ ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合				
	若い世代【20,30歳代】	74.6%	-	-	85%
		68.5%	-	-	75%
㉑	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.7%	-	-	85%
㉒	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	91店舗	200店舗
取り組むべき施策	27) 食育を通じた環境保全				
	28) 環境保全体験を通じた食育活動の推進				

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R2の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	環境にやさしい店の推進	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」と認定し広報	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	・環境にやさしい店「よかエコショップ」認定店舗数を増やすとともに、市民への広報・啓発を行いグリーンコンシューマーを育成	増加	環境政策課 (温暖化・エネルギー対策室)
2	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	・水質汚濁防止法の規定に基づき、本市における地下水質の監視を行った	100%	水保全課
3	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 (台風のため中止)	参加人数 115人	中止	・農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する ・新型コロナウイルス感染症対策を優先し、交流事業は中止した	200人	水保全課
4	小学校への副読本の配布	小学4年生へ、社会科副読本として、ごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、配布	配付数 7,500人	配付数 7,500人	配付数 7,800人	・R2年度も小学4年生社会科副読本として、「ごみとリサイクル」を作成し配付。また、植木地区版を作成し植木地区の小学4年生にも配付	小学4年生 全員へ配布	ごみ減量推進課
5	生ごみ減量対策	食品ロス削減推進法を踏まえ、「生ごみにしない」、「出ってしまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおき、生ごみ減量に取り組む (評価指数:新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数)	1,220人	1,247人	175人	・生ごみ減量対策として行っていたエコレシピチャレンジ講座と段ボールコンポスト講座が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・生ごみ処理機・堆肥化容器の助成金を175人に交付	対前年比 増加	ごみ減量推進課
6	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	参加人数 3,590人	参加人数 3,485人 (103回)	中止	・環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策を優先し、交流事業は中止した	増加	環境総合センター
7	環境にやさしい農業の推進	エコファーマー、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数 1,625	経営体数 1,365	経営体数 1,349	・エコファーマー、有作くんの認定(認証)、更新の推進	2,090	農業支援課
	●検証指標	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	91店舗	・R2年度も「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を募集し、新たに5店舗を登録した	200店舗	ごみ減量推進課